

## 管理運営評価シート(令和4年度)

施設名称	村上地区体育施設(11施設)	評価対象年度	令和4年度
指定管理者名	NPO法人総合型スポーツクラブウェルネスむらかみ	所管課	生涯学習課
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)	評価者(課長)	平山 祐子

## 1 令和4年度の実績

## (1)事業実績

利用実績	利用者数(11施設):49,065人、スポーツ事業:19事業実施(参加者数5,816人)
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートや窓口業務での意見聴取により、施設の管理・運営の問題把握に努め、積極的に業務に取り入れている。</li> <li>ホームページ・電子メール・SNS(LINE公式アカウント)の活用により、利用者への情報提供の迅速化を図るとともに、利用申請等の利用手続きの簡略化を図っている。</li> </ul>

## (2)管理経費

(単位:千円)

区分		前々年度 (2年度)	前年度 (3年度)	当該年度 (4年度)	合計	備考
収入	指定管理料	36,139	37,831	40,347	114,317	基本協定額: 193,725 千円
	利用料金	999	1,204	993	3,196	
	事業収入	999	1,095	1,478	3,572	
	自主事業収入	673	537	545	1,755	
	その他	124	119	121	364	
	収入合計 ①	38,934	40,786	43,484	123,204	
支出	人件費	15,258	15,737	16,368	47,363	
	福利厚生費	2,495	2,572	2,696	7,763	
	事務費	3,203	3,019	3,156	9,378	
	管理費	12,650	14,092	16,611	43,353	
	水道光熱費	2,220	2,746	4,277	9,243	
	修繕料	1,343	1,513	1,367	4,223	
	使用料・リース料	2,215	2,235	2,512	6,962	
	手数料・保険料	241	272	285	798	
	委託料	6,631	7,326	8,170	22,127	
	事業費	818	860	925	2,603	
	自主事業経費	1,387	1,388	545	3,320	
	その他	2,595	2,706	2,885	8,186	
支出合計 ②	38,406	40,374	43,186	121,966		
収支差額(①-②)	528	412	298	1,238		

2 共通評価項目

(記入者)自己評価…指定管理者 所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考 (◎、△、×のときは評価内容、その他特記事項があれば記入)
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。(書類の保管、社員への周知等)	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	○	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	○	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	○	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	△	○	事業計画では、救急・救命講習会の受講を職員研修の一環として予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大状況により講習会の開催が中止となり、それに伴い、職員研修も未実施となった。
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	○	○	
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	○	
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	○	○	
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	△	○	昨年度と比べ、大会・行事の開催については、快方に向かったが、上半期(4~8月)については、新型コロナウイルス感染症により例年開催している大会・行事のうち、殆どが中止となった。

◎:協定等の内容を超える水準で業務を履行している ○:協定等の内容どおり業務を履行しており適正

△:協定等の内容に対し、一部不履行がある ×:協定等の内容に不履行があり改善の必要がある -:該当なし

### 3 業務実施上の課題(指定管理者が記入)

<b>(1) 指定管理業務実施上の課題</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・施設の老朽化や緊急的な対応を必要とする不具合(水漏れ等)が多発し、修繕料については、予算を超過している。</li><li>・物価の高騰に伴い、光熱水費(電気料)については、予算を超過している。</li></ul>
<b>(2) 課題解決に向けた取組</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・施設の修繕については、中・長期的な計画の基での案件及び緊急的な対応を必要とする案件に分けて実施しているが、中・長期的な計画の基での案件の実施については、予算の残額に応じて、実施を次年度に持ち越すなどの取り組みが必要である。</li><li>・施設の修繕を実施する際には、外部委託する案件(電気・消防設備など専門知識及び資格を有する案件)と職員が自主改修する案件を選別し、極力、職員による自主改修を実施する。</li><li>・電気・水道・冷暖房の節約を常に考え、不必要な場所や休憩中は必ず消灯などを徹底し、また、必要に応じては、利用者への呼びかけも必要である。</li></ul>
<b>(3) その他</b>
<b>①利用者からの主な意見や苦情、対応策</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・村上体育館の駐車場については、市所有の公用車及び市臨時職員の駐車が多いため、自家用車で訪れても利用できないことがあるという意見がある。それに伴い、その都度、市総務課に内容を報告しているが、改善には至っていない。今後、担当課各課とのさらなる調整(公用車の駐車台数や代替の駐車場の検討など)が必要になる。</li><li>・山辺里体育館については、老朽化に伴い、外壁及び屋根が破損している状態になっている。そのため、豪雨や雪解けの時期には、度々、雨漏りが発生し、施設の利用に支障を及ぼしているが、スレート屋根が薄くなっているため、簡易的な修繕が不可能である。仮に修繕(カバー工法による修繕)を検討した場合、修繕料は、高額となる。そのような経緯で、修繕については、未着手になっているが、利用者からは、体育施設として貸し出しをしている以上、危険の除去は実施してほしいとの意見がある。当施設については、地域のコミュニティにおける重要な施設であることは、指定管理者は理解しているが、老朽化が進行している状況にあるため、市としては今後の対応を検討していただきたい。なお、この案件については、過去に数回、指定管理者から市に対して問題提起をしている。</li></ul>
<b>②その他</b>

### 4 全体的な評価

<b>(1) 指定管理者の評価</b>
公的事業(選挙・期日前投票、村上市美術展覧会)の未実施により、昨年度の実績と比べ、利用者数は減少したが、今年度、新型コロナウイルスの感染状況による施設の利用制限がなく、安定的に運営することができたため、定期利用団体の利用者数は増加している。なお、施設の運用(予約管理等)については、在住地域(村上地区内外)・年齢等を限定することなく受付業務、適宜、利用調整の実施など、効率的な施設の運用(貸出)に努めた。その結果、利用者(団体)とは、概ね良好な関係性となっている。但し、今年度同様に今後も物価の高騰により、予定外の経費の執行が予測されるため、計画的な経費の執行と施設の長寿命化を念頭に置いた施設の改修に努めたい。 また、利用者へのサービスの提供及び管理施設の有効活用に繋げるために独自のノウハウを生かし、ニーズにあったスポーツ関連事業を実施している。新型コロナウイルスの感染症対策を行いながら実施し、内容の変更や新型コロナウイルスの感染状況及び悪天候(水害・大雪)により中止になった事業もあったが、概ね計画通りに実施できた。
<b>(2) 施設所管課の評価</b>
令和4年度の指定管理11施設の利用者は、49,065人、スポーツ事業は計画した19事業を実施し、延べ5,816人の参加があった。指定管理協定書及び事業計画書に基づいた施設の管理運営、スポーツ事業が実施されたと認める。 施設の維持管理について、施設・備品の不具合の早期発見、予防保全に繋げるため、定期点検を行い、安心・安全な維持管理に努めている。 利用者アンケートからは、施設の快適性やスタッフ対応についての満足度が高くなっている。
<b>(3) 次年度の管理運営に対する指導事項等(施設所管課)</b>
今後とも適切な施設管理と親切丁寧な対応を心がけ、利用者の満足度向上を目指して施設運営にあたってもらいたい。更なる利用者増加に向けた事業展開について検討するとともに、体育施設が地域住民等に対するサービスの向上及び地域福祉の一層の増進が図られるよう取り組んでもらいたい。